

厚生労働科学研究費補助金  
分担研究報告書

高次脳機能障害者の社会参加支援の推進に関する研究 (H24 - 精神 - 一般 - 009)  
平成24 - 26年度東海ブロック

分担研究者 山田 和雄  
名古屋市立大学大学院教授

研究要旨

高次脳機能障害者の地域生活支援について、「東海ブロック連絡協議会」を開催することで、ブロックとして各県の実情を検討し、意見交換をする。それによって、地域にあった支援ネットワークの構築に必要な点を検討する。  
ブロック各県が持ち回りで、「東海ブロック連絡協議会」を主催するとともに、事例検討会などを開催することで、各県の支援力アップを図る。  
各県の高次脳機能障害支援の補う部分に関し、科研費をその一助とする。

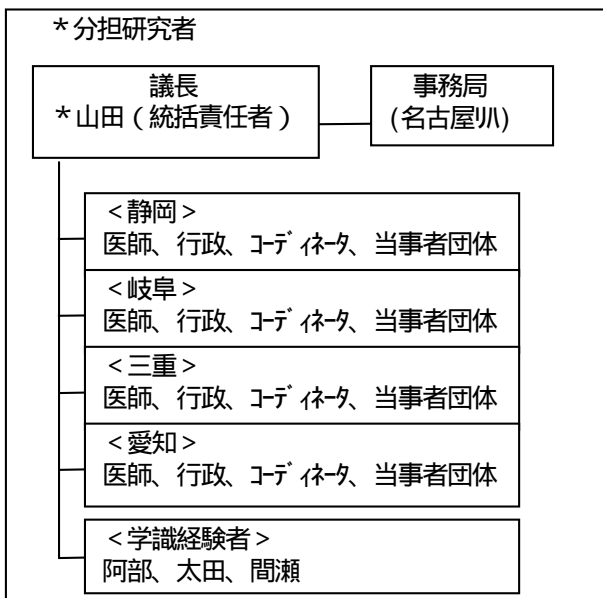
A. 研究目的

東海ブロックにおける各県の支援力、ネットワークの構築にむけて、各県の実情や手法を検討し、地域に合ったシステムを開発する。

B. 研究方法

- 平成18年度から東海ブロック4県（静岡、岐阜、三重、愛知）の高次脳機能障害に携わる行政担当者、医師、支援コーディネーター、家族会代表、および学識経験者による東海ブロック連絡協議会（議長：分担研究者）を設置。平成21年度からも同様の協議会を設け、毎年1～2回、継続的に協議会を開催している。

<東海ブロック連絡協議会の構成>



<東海ブロック連絡協議会委員>

敬称略 氏名欄の数値は委員年度

	氏名	所属等
分担研究者 議長	山田和雄	名古屋市立大学大学院
学識経験者	阿部順子	岐阜医療科学大学
"	太田喜久夫	藤田保健衛生大学病院
"	間瀬光人	名古屋市立大学大学院
< 静岡県 >		
医師	片桐伯真	聖隷三方原病院
行政	鈴木弥生 (24,25) 守屋佳子 (26)	静岡県健康福祉部精神保健福祉室
支援Co	坂口英夫 (24,25) 土屋亮 (26)	障害者生活支援センターくぬぎの里 中伊豆リハビリテーションセンター
当事者団体	滝川八千代	NPO法人高次脳機能障害サポートネットしずおか
< 岐阜県 >		
医師	篠田淳	木沢記念病院、中部療護センター
行政	丹羽伸也	岐阜県精神保健福祉センター
支援Co	宇津山志穂	木沢記念病院
当事者団体	西村憲一	NPO法人脳外傷友の会長良川
< 三重県 >		
医師	園田茂	七栗サナトリウム病院
行政	堀山由実	三重県障害者相談支援センター
支援Co	田辺佐知子 (24,25) 森由美 (26)	三重県身体障害者総合福祉センター
当事者団体	古謝由美	三重TBIネットワーク
< 愛知県 >		
医師	深川和利	名古屋市総合リハビリテーションセンター
行政	梅村文彦 (24,25) 加藤明 (26)	愛知県健康福祉部障害福祉課
支援Co	長谷川真也	名古屋市総合リハビリテーションセンター
当事者団体	尾山芳子 (24) 星川広江 (25, 26)	NPO法人脳外傷友の会みずほ NPO法人高次脳機能障害支援「笑い太鼓」理事

- 2. 各県が連絡協議会を持ち回りで開催し、併せて各県が課題とする点について、事例検討やセミナーの開催を行い、各県の高次脳機能障害支援のあり方を検証する。
- 3. 各県の高次脳機能障害支援の実情に合わせ、独自のセミナーの開催による広報・啓発や研究などを行う。

C. 研究成果

1. H24年度東海ブロックの活動

(1) 東海ブロック連絡協議会の開催

【24年度】

日時：H25.1.25（金）13:00～16:30

会場：ウインクあいち（名古屋市） 参加：36名

第1部 連絡協議会

東海4県（静岡、岐阜、三重、愛知）の現状報告 実績、課題・方針 / 意見交換

第2部 研修会

高次脳機能障害者の生活訓練 ～生活版ジョブコーチ支援について～

講師：阿部順子氏（岐阜医療科学大学保健科学部教授）

【25年度】

日時：H26.2.2（日）10:00～12:00

会場：四日市市総合会館（四日市市） 参加：40名  
委員 20名

内容：高次脳機能障がい者の就労支援について

- ・連絡協議会 東海4県（静岡、岐阜、三重、愛知）の実績報告、意見交換とあわせて三重県「第25回高次脳機能障害者地域支援セミナー」を同日午後開催

【26年度】

日時：H26.8.8（金）13:20～16:30

会場：ウインクあいち（名古屋市） 主催県：岐阜県  
参加：約50名

内容：テーマ『支援ネットワークの現状と課題』

- ・連絡協議会 東海4県（静岡、岐阜、三重、愛知）の実績報告、意見交換
- ・東海4県の支援ネットワークについて
- ・講演：大阪府・愛媛県の支援ネットワークについて（講義は両県支援コーディネーター）全体で意見交換

(2) その他の活動

- ・東海ブロック全体の研究のほか、東海4県で分担して高次脳機能障害支援に関わる研究費として運用した。

- ・各県の運用については、地域の実情の即したかたちで実施している。

(3) 平成27年度以降について

- ・東海ブロック連絡協議会として、これまで同様ブロック4県の行政担当者、医師、支援コーディネーター、家族会代表、および学識経験者で委員を構成。年1回以上、任意の協議会を開催していくことを確認している。予算は各県・委員の自費。

2. 各県の活動

【静岡県】

支援拠点機関

圏域名	支援拠点機関	設置年度
賀茂・熱海伊東	オリブ (0558)43-3131	H23年度～ *1
駿東田方	障害者生活支援センターなかいずり八 (0558)83-2195	H24年度～ *1
富士	障害者生活支援センターくぬぎの里 (0545)35-5589	H19年度～ *1
静岡	サポートセンターコンパス北斗 (054)278-7828	H23年度～ *1
志太榛原	相談支援事業所暁 (054)620-9202	H21年度～(H24年度を除く)*1
中東遠	浜松東 (053)541-7340	H26年度～ *1
浜松	ナルド (053)437-4609	H23年度～ *1
県全体	聖隷三方原病院 (053)439-9046	H22年度～ *2
	高次脳機能障害者サポートネットしずおか (054)622-7405	H19年度～ *3

\*1 相談支援事業所 \*2 医療機関 \*3 当事者家族を含む団体

支援コーディネーター

H24年度18名 H25年度18名 H26年度19名  
数値実績

年度	24	25	26
(1) 拠点機関相談数 (件)			
来所	1,315	978	1,194
訪問	937	874	780
連絡等	2,296	2,400	1,952
(2) 拠点機関連携数 (件)			
来所	60	112	60
訪問	88	247	316
連絡等	711	803	1,601
(3) 拠点機関主催 (回)			
連絡会・協議会	11	9	25
研修会・講習会	13	7	20
ケース会議・勉強会	159	106	120

(4) 医療等総合相談（県健康福祉センター・保健所）			
回数(回)	20	18	18
延人数(人)	59	40	52
(5) 支援従事者研修（県健康福祉センター・保健所）			
回数(回)	7	6	6
参加者数(人)	492	452	325
(6) 支援従事者研修（拠点）			
回数(回)	2	2	2
参加者数(人)	309	135	253
(7) 事業検討専門家委員会			
回数(回)	2	2	2

活動実績

- 別紙資料に詳細記載

### 【岐阜県】

支援拠点機関：岐阜県精神保健福祉センター  
 支援拠点病院：社会医療法人厚生会木沢記念病院  
 支援コーディネーター：1名（拠点病院に配置）

数値実績

年度	24	25	26
(1) 拠点機関相談数（件）			
来所	98	77	84
訪問	25	24	22
電話連絡等	91	50	95
(2) 拠点機関連携数（件）			
来所	1	0	3
訪問	3	0	3
電話連絡等	253	116	137
(3) 連絡会・協議会（回）			
主催	3	2	6
講師等協力	6	5	6
(4) 研修会・講習会（回）			
主催	4	4	4
講師等協力	15	2	2
(5) ケース会議・勉強会等（回）			
主催	4	5	7
講師等協力	5	0	2

活動実績

- 別紙資料に詳細記載

### 【愛知県】

支援拠点機関  
 名古屋市総合リハビリテーションセンター  
 電話（052）835-3811

支援コーディネーター：3人

数値実績

年度	24	25	26
(1) 拠点機関相談数（件）			
来所	1689	1483	1595
訪問	53	74	43
電話連絡等	583	555	806
(2) 拠点機関連携数（件）			
来所	108	106	172
訪問	58	96	92
電話連絡等	404	333	672
(3) 連絡会・協議会（回）			
主催	3	3	2
講師等協力		3	1
(4) 研修会・講習会（回）			
主催	3	3	2
講師等協力		3	1

活動実績

- 別紙資料に詳細記載

### 【三重県】

支援拠点機関  
 三重県身体障害者総合福祉センター  
 電話（059）231-0037  
 支援コーディネーター 1.5人

数値実績

年度	24	25	26
(1) 拠点機関相談数（件）			
来所	374	334	308
訪問	328	429	328
電話連絡等	599	689	534
(2) 拠点機関連携数（件）			
来所	46	60	98
訪問	219	346	236
電話連絡等	644	743	569
(3) 連絡会・協議会（回）			
主催	2	1	2
講師等協力	0	0	0
(4) 研修会・講習会（回）			
主催	2	0	2
講師等協力	3	8	9
(5) ケース会議・勉強会等（回）			
主催	6	4	1
講師等協力	51	35	53

活動実績

- 別紙資料に詳細記載

#### D. 考察

高次脳機能障害支援普及事業、厚生労働科学研究が開始された平成18年度以降、東海ブロック各県においては、それぞれの地域性はあるものの、不足部分については地域のネットワークにより補完しあい、それぞれの支援機関においては支援力をアップさせることで、高次脳機能障害者の支援体制が徐々にではあるものの確立されてきた。

平成21年度以降についても連絡協議会はそれを確認する場であり、また科研費は各県の高次脳機能障害者支援の研究および普及活動に寄与している。

#### E. 結論

各県の成果は、各県活動報告に詳細記載。

なお、厚生労働科学研究については、上記考察で述べたとおりで、高次脳機能障害者支援に寄与するものであるだけに、今後も継続されることが望まれる。

#### F. 健康危険情報

#### G. 研究発表

別紙各県活動報告・研究成果刊行参照。

#### H. 知的財産権の出願・登録状況

なし。